



横浜銀行 ロンドン駐在員事務所 週間トピックス(2017.11.10)

ラグビー・ワールドカップ 2019 日本大会情報①

- 11月2日、ラグビー・ワールドカップ(RWC)2019日本大会の日程と対戦組み合わせが発表されました。
- RWCは、オリンピック、FIFAワールドカップと並ぶ世界3大スポーツ大会のひとつに位置づけられ、RWC2019日本大会の経済波及効果は約4,200億円、訪日外国人旅行者数は約40万人との試算(EY総合研究所)もあります。
- 2020年東京オリンピックは東京中心の開催であるのに対し、RWC2019日本大会は全国12会場で行われるため、日本全国への経済波及効果が期待できます。
- 横浜(日産スタジアム)では決勝・準決勝を含む7試合が行われ、さまざまな訪日外国人旅行者誘致の取り組みが進められています。

1. RWC2019日本大会の経済波及効果

(1) 全体の経済波及効果

- 前回2015イングランド大会では、直接・間接の経済波及効果は約3,450億円(£23億、£1=150円)、海外からの訪問者数は約40.6万人との結果が発表されています。
- 2019日本大会では、経済波及効果約4,200億円、訪日外国人旅行者数約40万人との試算(EY総合研究所)もあり、全国12会場で行われることから、全国各地への経済波及効果が期待されています。

前回2015イングランド大会との比較

	2015イングランド大会	2019日本大会
経済波及効果	約3,450億円(£23億)	約4,200億円
海外からの訪問者数	40万6,000人以上	約40万人
雇用創出効果	約3.4万人	約3.9万人

(出所: EY総合研究所試算)

(2) 横浜への経済波及効果

- 神奈川経済同友会は、横浜への経済波及効果を少なくとも150億円、最大で300億円と試算、地元経済界にRWC成功への協力を呼びかけています。

2. RWCの特色

(1) 2020年東京オリンピックとの開催期間比較

- 2020年東京オリンピックの開催期間が17日間であるのに対し、RWC2019は44日間(2019年9月20日から11月2日)と長く、訪日外国人旅行者の長期滞在が予想されます。

(2) RWC参加国

- RWCの参加国は欧州とオセアニアが中心のため、観戦に訪日する旅行者には長期滞在に加え、高消費単価が見込まれます。訪日外国人旅行者の1回あたりの平均旅行支出は176千円/1人であるのに対し、英国からの訪日旅行者の平均は210千円/1人と、全体を上回る調査結果もあります。
- 前回2015イングランド大会では、海外からの総訪問者数40.6万人のうち、欧州より18.8万人、イングランドを除く英国より9.6万人、オセアニアより3.9万人と、約8割を欧州とオセアニアからの旅行者が占めました。

3. 英国での訪日旅行者誘致の状況

(1) 英国からの訪日旅行者

- 英国からの訪日旅行者数は、2011年の140千人から2016年には300千人と5年間で倍増しています。
- 特徴としては、中高年の高所得者層が多いことから、長期滞在型で消費額が高く、また日本の伝統的文化への関心が高いことが挙げられます。

(2) 英国での訪日旅行者誘致

- 11月6日、在英国日本国大使館にて、訪日旅行者誘致のイベント「VISIT JAPAN NIGHT」が開催され、多くの英国旅行関係者が集まり、日本への関心の高さが伺えました。



(3) RWC2019 オフィシャル旅行会社向けワークショップ開催

- 11月10日には、ロンドン市内にて、RWC2019 オフィシャル旅行会社向けワークショップが開催され、横浜市がブースを設置、世界各国から集まった旅行会社に対し、横浜のPRをおこないました。



4. まとめ

- アジアでの初開催となる WRC2019、大会開催にともなう富裕層インバウンド獲得のみならず、大会後もレガシーを引き継いでいくことで海外からの旅行者やビジネス客をますます増加させ、継続的な経済波及効果が期待されます。

以上

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。